

平成 30 年度職員採用試験（大学卒業程度）
建築 専門記述試験（30. 6. 24）

＝ 課 題 ＝

○既存建築物の安全性確保について

建築物防災週間は、火災、地震、がけ崩れ等による建築物の被害や人的被害を防止し、安心して生活できる空間を確保するために、広く一般の方々を対象として、建築物に関連する防災知識の普及や、防災関係法令・制度の周知徹底を図り、建築物の防災対策の推進に寄与することを目的として、昭和 35 年以来毎年 2 回設けられています。

一方で、ホテルや福祉施設などにおいて、毎年のように死傷者が発生する火災が起こっています。こうした火災では、防火設備の不備や適切な避難誘導がなされなかったことなどにより被害が拡大した可能性があると考えられます。

また、外壁タイルの一部やビル壁面に設置されている看板が落下して、通行人に被害を及ぼす事故も発生しています。こうした事故では、外壁等の劣化・損傷の状況の点検が適正に行われていなかったと考えられます。

このような背景を踏まえて、既存建築物の安全性を確保することの意義、課題、建築物の安全確保を促す新たな方策について記述しなさい。